

■太田光一 EAJ中部 副支部長、ご逝去

10月15日、太田光一副支部長がご逝去されました。昭和26年6月22日生まれ、74歳でした。名古屋大学工学部化学工学科をご卒業の後、豊田合成(株)に入社、2年間米国ワシントンD.C.の法律事務所にて研修を受け、技術企画部課長、室長、副部長となられた後、オプトE事業部技術部長に就任、日亜化学(株)との青色LED特許紛争の解決に奔走され、両社の和解に多大なご貢献をされました。常務取締役や顧問、最後はシニアアドバイザーに就任したほか、ティーjeeオブシード(株)社長、豊田合成光電貿易(上海)有限公司董事長、LEXEDIS Lighting GmbH Managing Director、名古屋大学プロジェクト戦略委員会委員、LED照明推進協議会(JLEDS)理事長、新技術協会理事、応用物理学会東海支部評議員など数多くの社会活動を通してLEDの普及に貢献されました。2014年のノーベル賞授賞式の際には、故赤崎勇先生と私だけで無く両家族のもてなしをして頂きました。心よりご冥福をお祈りします。(天野 浩)



ノーベル賞授賞式会場にて



太田副支部長と天野教授

■イノベーション拠点で、中部レクチャー開催 (2025年5月)

5月26日、TOIC名古屋サイトにて第21回EAJ中部レクチャーが開催され、「オープンイノベーションが拓く未来」をテーマに約80名が参加する盛況となりました。前半は名古屋大学未来社会創造機構・量子化学イノベーション研究所長の清中茂樹教授が登壇。量子技術イノベーション戦略に基づく「量子フロンティア産業創出拠点」の構想や、量子化学を軸とした新産業創出の取り組みが紹介されました。多元素系触媒や量子ドットなどの研究事例を通じ、化学・医療・材料分野の融合による社会実装の可能性が語られました。後半は、株式会社TOKAI INNOVATION INSTITUTE (TII) 取締役COOの寺野真明氏が登壇。大学の知を社会的価値へと変換する外部法人として設立されたTIIの理念と活動が紹介され、産学連携による挑戦的テーマ創出や、モビリティ・ナノライフ・食と農などの分野の実践例が共有されました。両講演とも、産学官連携による新産業創出の可能性に、参加者の関心が集まりました。(伊藤 みほ)



清中教授



寺野氏

■工学分野の女性活躍をテーマに、シンポジウム開催 (2025年8月)

8月25日、金城学院大学と合同主催でEAJC2025 シンポジウムを金城学院大学音楽ホール・リリーハーモニーにて開催しました。本シンポジウムは「工学分野における女性活躍への期待」をテーマに、産業界、女子学生、保護者、そして一般の方々を対象として開催されました。基調講演・パネル討論では、大学（名古屋大学 浦田真由准教授）、行政（名古屋市 吹上康代経済局長）、企業（NTT西日本 児玉美奈子執行役員、デンソー 伊藤みほ執行幹部）、それぞれの立場から今後の方向性が語られました。また、金城学院大学の学生、金城学院高等学校の生徒による質問もあり、若い世代が考える女性の働き方や将来の社会像についても意見が寄せられました。金城学院大学国際情報学部の岩崎公弥子教授も登壇し、産学官の連携を踏まえた今後の展望について提言があり、中部地域における「ものづくり」と女性の活躍の可能性を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。(安田 孝美)



学生・生徒の皆さん



産学官からの登壇者